

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-2-015

補助事業名 平成27年度 障害がある人が幸せに暮らせる社会を創る 補助事業

補助事業者名 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

障がい者のスポーツ活動の促進を図るため、全国障害者スポーツ大会やその予選会の開催及び各競技大会を開催し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

①第15回全国障害者スポーツ大会（和歌山県）



②第15回全国障害者スポーツ大会予選会

1) 聴覚障害者バレーボール競技



(別紙5)

2) 視覚障害者グラウンドソフトボール競技



3) 車椅子バスケットボール競技



4) 知的障害者バスケットボール競技



5) 知的障害者バレーボール競技

6) 知的障害者サッカー競技

7) 知的障害者ソフトボール競技

(別紙5)

8) 知的障害者フットベースボール競技

9) 精神障害者バレーボール競技

③国際盲人マラソン大会



④国際大会の日本代表選手団ユニフォーム経費

IBSAワールドゲームスソウル2015日本選手団ユニフォーム経費



エクアドル2015Inasグローバルゲームズ日本代表選手団ユニフォーム経費



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

①第15回全国障害者スポーツ大会（和歌山県）

身体障がい、知的障がい、精神障がいの三障がい、全ての障がい者が、全国各地のより集まり、様々な競技で競い合う国内最大の障がい者スポーツの大会である本大会である。本大会の開催は、多方面にわたって地域における障がい者スポーツ振興を牽引し、指導者の育成や各部道府県・指定都市において障がい者スポーツ協会設立などの基盤整備のための重要な役割となる。

②第15回全国障害者スポーツ大会予選会

本予選会の開催の目的は、全国障害者スポーツ大会へ出場するための、団体競技のブロック予選会を安全に、公平に行うことであるが、本大会の開催により、より地域での障がい者スポーツの普及・振興が進み、ブロックでの地域間の連携が深まる。

③国際盲人マラソン大会

国内でも有数の参加者数を誇る、かすみがうらマラソン大会と同時開催することにより、一般ランナーと、障がい者ランナーが同時に走ることが出来る。それにより、一般ランナーは自然に障がい者ランナーと触れ合うことができ、障がいの理解が進む。

④国際大会の日本代表選手団ユニフォーム経費

日本選手団として、日の丸、日本パラリンピック委員会のマークの入ったユニフォームを着ることにより、日本選手団としての誇りと自信をもち、競技に参加することが出来る。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

④国際大会の日本代表選手団ユニフォーム経費

1) ジャージジャケット



2) ジャージパンツ



(別紙5)

3) ポロシャツ



4) キャップ



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
無し

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

(コウエキザイダンハウジンニホンショウガイシヤスポーツキョウカイ)

住 所 : 103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6 ユニゾ水天宮ビル 3階

代表者名 : 会長 鳥原光憲 (トリハラミツノリ)

担当部署 : 総務部 (ソウムブ)

担当者名 : 岩坪 友子 (イワツボトモコ)

電話番号 : 03-5939-7021

F A X : 03-5641-1213

E - m a i l : miyashita@jsad.or.jp

U R L : <http://www.jsad.or.jp>